

2019年10月8日 特別セミナー開催

健康と環境に良い住宅とは



近畿大学
建築学部 学部長
建築環境システム研究室 教授・博士

岩前 篤氏 講演

神戸大学院工学研究科を修了後、積水ハウス株式会社、
近畿大学理工学部建築学科の助教授・教授を経て建築学部の学部長に就任し、現在に至る。
積水ハウスでは住宅の断熱・気密・防露に関する研究開発に携わり、神戸大学では博士号を取得。
学外では、経済産業省建材トップランナー制度審議会委員、環境省温暖化対策住宅分科会委員、
国土交通省スマートウェルネス住宅研究委員会委員に携わる。

10月8日、近畿大学建築学部 岩前 篤学部長にお越しいただき、特別セミナー「健康と環境に良い住宅とは」を、兵庫県民会館 けんみんホールにて開催いたしました。

セミナー当日は240名を超えるたくさんの方にお集まりいただきました。

主催:こうべKANSAI 住環境議会 後援:兵庫県/神戸市/神戸新聞社/サンテレビ



セミナーレポート ZEHの課題は、「高断熱化」がカギを握る

ヤマト建建は、住宅に関するさまざまな研究を、広く一般の方々にお伝えするため、各方面でご活躍されている先生方にお越しいただき講演会を行っています。

セミナーでは、「ZEHの課題」や「快適≠健康」、「人間の長寿命化に伴う住宅の長寿命化の必要性」等について分かりやすくお話していただき、参加した皆様も真剣に耳を傾けていました。

ZEHの課題は、エネルギーの消費をいかに減らすかがより重要なため「高断熱化」がカギであり、住んでからの変更が難しい建物自体への初期投資の大切さや、高断熱化による住む人の健康改善効果、さらに2018年11月に世界保健機関(WHO)より「住宅の室内最低気温は18℃以上」と強く推奨するガイドラインが発表されたことなどをお話いただきました。今回のセミナーを通し、住宅業界で働く私たちが、高断熱・高气密な高性能住宅によりお客様を健康で快適な暮らしへ導くことの重要性を改めて強く認識しました。

今後も地域の皆様に貢献できるようなセミナー、イベント等を開催していきたいと思っております。



岩前先生のセミナーでは、建築や住宅だけでなく、医学や時事問題などのさまざまな視点からZEHや住環境を取り巻く現状を学ぶことができます。



最後は弊社会長の西津が閉会のご挨拶をさせていただきました。